



名古屋大須ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-OSU WEEKLY REPORT

<本年度クラブ会長方針>

No. 1009

Ever Onward ~いつも前を向いて~

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 小澤 幸男 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 太田 裕 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org



2008-2009年度 R.I. 会長

李 東建 Dong Kurn Lee

Rotary International President

第1183回例会

新世代のための月間
平成20年9月25日(木)

クラブフォーラム

於 名古屋東急ホテル

出席計算数

58名中49名出席

出席率 84・48%

前々回出席率 85・96%

「ロータリーソング」

「R・O・T・A・R・Y」

指揮者 鬼頭 茂成

ピアノ伴奏 富板 玲子

「ゲスト」

能楽協会名古屋支部
副支部長 柳原富司忠さん



「ニコボックス」

25周年記念事業よろしく。小澤 幸男
新能よろしく。太田 裕

10月4日大須観音新能が近づいてき
ました。皆さん、ご協力宜しくお願
いします。吉田 隆彦・前田 隆久

敬老の日、プレゼントありがとうございます
いました。山田 邦彦

敬老の日、松茸ありがとうございます
た。小野 定男

尾上さん、感謝、感謝。小林 昭彦

日比野さん先日はありがとうございます
ました。木村 光徳

会長挨拶

会長 小澤 幸男

朝夕だいぶ涼しくなり、過ごし易く
なりました。ただ風邪を引かないよう
に気をつけて下さい。

さて、25周年記念事業の大須観音新
能がいよいよ来週の土曜日4日に迫っ
てまいりました。1時から、クラブフ
ォーラムで委員長の吉田さんから色々
お話、お願いがございます。皆様のこ
協力をよろしくお願いいたします。

さて今日日横内さんもお見えですが、
新聞の話をいたします。中日新聞の同
級生が言っていました。普通下場で物
を作る場合、多種少量生産と少量大量
生産があります。新聞の場合も多種
大量生産だとのことでした。確かに
朝晩毎日違う紙面を何百万部大量に印
刷するのは世の中にあまり例が無い多
種大量生産の見本だと感じました。

その中で新聞ごとに紙面が少しずつ
違ふなと思ひまして少し調べてみまし
た。紙面の段数と1段の文字数を調べ
ましたら朝日新聞が12段の13文字
読売新聞が12段の12文字、毎日新聞
が15段の10文字、日経新聞が15段の
11文字、中日新聞が
15段の10文字でし
た。調べたのは1面
でして、その他の面
は多少文字数が変化
しているようです。



各社ポリシーがあつて決められている
と思いますが、朝日、読売の場合6段
目と7段目の間に折り目がありひつ
り返して読めば良いのですが段数が奇
数の15段の場合8段目を読むときは紙
面をひいて読まないと読めないと言っ
ことで少し不便かなと感じています。

クラブフォーラム

創立25周年記念事業実行委員会

委員長 吉田 隆彦

能楽協会名古屋支部

副委員長 柳原富司忠さん

創立25周年記念事業実行委員会

副委員長 前田 隆久

副委員長 鬼頭 茂成

10月4日(土)に開催される「大須
観音新能」を話題にクラブフォーラム
が行われました。



委員長、各担当の副委員長からお話があり、ゲスト
として柳原富司忠さんにもご参加いただきました。

受入交換生 ウェルカムパーティ

9月18日(木)受入青少年交換生
ラウラ・フランチェスカさんのウェル
カムパーティが開かれました。
ラウラさんの通う愛知高校からは坪

島先生がご参加くださり、スタートし
たばかりのラウラさんの学校生活の話
も含めながら、ご
挨拶を頂きました。



10月9日(木)例会の案内

例会変更 同日 18時より
創立25周年記念懇親会
於 ガーデンレストラン 徳川園

広報委員会

杉本 英夫・木村 光徳
加藤巳千彦・北川 晶邦
佐々木 功



日本のロータリーの皆さま、お元気ですか？

大変遅くなりましたが、3月半ばから4月半ばに行った、アフリカの孤児院での実習、第2弾のレポートがやっと出来上がりましたので添付いたします。(中略)今回も、提出義務のあるレポートではありませんが、ジンバブエ同様、将来の援助にどこかで何かつなげられたい、日本・イタリア・コンゴ共和国のロータリーの方宛にレポートをお送りしています。7月終わりから8月終わりにかけては、同じ孤児院での実習の第3弾として、セネガルのダカールに行ってきました。このレポートもこれから書き始めて、またお送りいたします！

第一回目の実習で行ってきたジンバブエ、おそらく日本でもたくさん報道されていると思うのですが、今、本当に大変な国の状況になってしまっています。つい先日、ハラレ市のロータリーの方や、孤児院のシスターのお母さまからメールを頂きました。一般に、裕福な方たちであるロータリアンでさえ、今、大変苦しい生活状況になってしまっています。水・電気・電話の供給がほとんどなく、国民たちは皆次の食事をとるのに走り回っている状況だそうです。テレビもずいぶん長い間見れず、新聞は高すぎて買えないのでホントにもう長い間、ニュースが耳に入ってくる感じがしません。私がいたときでさえ、すごいインフレで、スーパーもほとんど物がなく、今はインフレ率が1億パーセント以上！ガソリンも動くもれず、ホントにホントに大変な状況になってしまっているようです。

孤児院のお母さまからは、今孤児院が食糧危機に瀕していることを聞きました。孤児院だけでなく、一般国民は皆ですが、孤児院の子どもたちも何ヶ月もパンを食べていない状況だそうです。私がいたとき以上に、同じものを毎日のように食べ、ますますソースやお肉、野菜の量は減っているのだと思います。私がいたときには元気だった7歳の女の子はエイズが発病し、日に日に悪くなる一方だそうです。

今すぐにお水や食べ物を持ってジンバブエに行きたいと思っていますが、私の経済力と、ジンバブエの国の状況により、残念ながら今すぐにはいことができないのがもどかしいです。ジンバブエはおそらく今も人道援助の入国を認めていないので、おそらく私が身一つで空港に着けば入国できると思いますが、孤児院に何かを持っていくことはおそらくできないのです。ホント、このような状況下では自分の無力さが悔やまれます…！！！！

ジンバブエの孤児院のシスターは、以前お伝えしたように、白血病なのですが、今、ベルギーにいます。この孤児院を支えているベルギーの人たちがシスターをベルギーに数ヶ月呼んで来て、おそらく白血病の治療も少ししているんじゃないかと思えます。来週、私もシスターに会いに行くことにしました。9月25日から28日まで、27日にはシュング(孤児院の名前)の子どもたちのためのチャリティーコンサートでピアノコンサートをするそうです。私は、ボローニャの人たちがアフリカの子どもたちのために集めてくださったサッカーボールやユニフォームがまだ家にあるので、これらのものと、他にも持っていけるだけ、ベルギーに運ぼうと思っています。ベルギーからは時々大きなコンテナで物資を送っているのです。



そして1つご報告ですが、ジンバブエから帰ってきてからお送りいただいた、大須のクラブの方々からのご寄付を、本当は今度行く時に現地子どもたちのために使おうと思っていたのですが、何せ国がこのような状況で少しでもお金も必要となるので、今回、シスターに渡してごようと思えます。シスターがジンバブエに帰ったら、子どもたちのために、できたら栄養の取れるものを少しでも買ってもらえたらと思います。(中略)



日本でも、可能性があれば…ロータリーの皆さまのお知り合いや、何か一緒にできるプロジェクトになれば…心のどこかにこのメモを残して置いていただけたらとありがたいです。

ジンバブエの孤児院にソーラーシステムを設置して、電気が常に通うようにできたら…！！水を使うのに電気のポンプで地下から汲むので、電気の供給がないと水も使えないのです。

ソーラーシステムが時間がかかり、すぐの設置が無理であれば…セネガルのダカールのホストファミリー(ロータリアン！)がご自宅に設置した機械が、電気の供給が止まると自動的に電池に切り替わり、あと何時間か電気を使うことのできるコンバーターを設置できたらと思います。ハラレ市のロータリーの方によると、この機械の設置にはおそらく5000アメリカンドルくらいでできるのではないかとのことでした。購入や設置についてはこのロータリーの方(ハラレ市ロータリークラブの今年度の会長さん)も協力してくださるそうです。



それから、もし可能であれば、「愛は地球を救う」の24時間テレビのような番組で、この孤児院に出向くので、孤児院の子どもたちをつなぎたいです。「ナツコソング」として、チューリップの歌が歌えますし、もし、電波を通じて日本の子どもたちとコミュニケーションが取れたら、それだけでもきっと大変なエネルギーをこの子どもたちに与えることになると思います。

今回3カ国行った中では、一番苦しい状況にあるのがこの孤児院の子どもたち。もし現地のロータリーと日本・イタリアとが何かの形で援助を将来できたらと心から思っています。何か可能性があれば、親善奨学生の間は終わってしまっていますが、喜んでお手伝いしますので、どうかよろしくご検討をお願いいたします。ちなみに、新聞や雑誌などに記事を書くのも喜んでいたします！



ボローニャでは、11月の最初の木曜日にボローニャ東ロータリークラブとロータリーアクトの方たちの集まりで、この2年間の経験や、アフリカの実習の報告をすることになっています。こちらのコーディネーターのファビオが一生懸命その日のことについて考えてくださっています。

これからセネガルのレポートと卒論、頑張ります！

もうしばらくボローニャにいますが、いつか大須のクラブでまた皆様にお礼のご報告ができるのも楽しみにしています。



澤屋 奈津子

写真：澤屋奈津子「コンゴ 実習レポート」より
(レポートをご覧になりたい方は、事務局まで)